

副専攻名 地理学												
副専攻のCP(カリキュラム編成方針)												
すべての学生を対象として、地理学という学問の基本的な知識、考え方、スキルを、ある程度体系的に学ぶことを目的とするカリキュラムである。とりわけ通常の講義や演習とともに、地域調査の基礎を学ぶための演習と実習を履修することで、地域調査の基礎的な知識と技術を身につける点に特徴がある。												
副専攻の学習成果												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地理学の思考法について、体系性をもちながら、理解する。</li> <li>・地域調査に関する基礎的な知識と技術を身につける。</li> <li>・各領域の地理学の成果について知り、説明できるようになる。</li> </ul>												
副専攻を構成する科目												
科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4					
41251	地域調査基礎演習1	地域調査の基礎的な理論と方法を身につけること、具体的には(1)地域に応じた基礎的な研究テーマを設定すること、(2)文献および基礎データの分析を通じて調査対象地域の概要を把握すること、(3)研究テーマに応じた適切な方法論を組み立てることが求められる。	2	*								
41252	地域調査基礎演習2	地域調査の基礎的な理論と方法を身につけること、具体的には(1)研究テーマにふさわしい調査項目を設定すること、(2)調査対象先への調査の依頼と調査のアポイントメントをとること、(3)調査日程の計画を立てることが求められる。	2		*							
41263	地域調査基礎実習1	地域調査の結果得られたデータに基づいて分析をおこない、その結果を論文にまとめる基礎的能力を身につける。	2			*						
41264	地域調査基礎実習2	地域調査の結果得られたデータに基づいて分析をおこない、その結果を論文にまとめる基礎的能力を身につける。	2				*					
41271	地域調査野外実習A	野外での調査実習を通じて、地域調査の実践における基礎的な能力を身につけることが求められる。	2		*							
41259	人文地理学実習1	1)地域調査に際して適切な方法を選定することができるようになること、2)調査から得られたデータを分析するための基礎となる統計学の基礎について理解を深め、主な分析方法をマスターすること、3)コンピュータの操作について習熟し、エクセルを用いた統計分析の手法をマスターすること。	2	*								
41260	人文地理学実習2	1)調査の設計方法を理解し、仮説の立て方や誤差やサンプリング方法、調査票の設計方法やインタビューの方法、フィールドノートの取り方、調査後のデータ整理の方法について理解すること、2)コンピュータの操作について習熟し、各種の作図ソフトの利用法をマスターすること。	2		*							
41261	自然地理学実習1	自然地理学・自然環境計測に関する諸技術を取得する(地形図の理解と地形測量)。	2	*								

**副専攻名 地理学****副専攻のCP(カリキュラム編成方針)**

すべての学生を対象として、地理学という学問の基本的な知識、考え方、スキルを、ある程度体系的に学ぶことを目的とするカリキュラムである。とりわけ通常の講義や演習とともに、地域調査の基礎を学ぶための演習と実習を履修することで、地域調査の基礎的な知識と技術を身につける点に特徴がある。

**副専攻の学習成果**

- ・地理学の思考法について、体系性をもちらながら、理解する。
- ・地域調査に関する基礎的な知識と技術を身につける。
- ・各領域の地理学の成果について知り、説明できるようになる。

**副専攻を構成する科目**

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4
41262	自然地理学実習2	自然地理学・自然環境計測に関する諸技術を取得する(空中写真および天気図の判読、現地実習)。	2		*		
41232	地理学概論A	地理学において鍵となる基礎概念をきちんと理解できるようになる。	1	*	*		
21103	地理学概論B	地理学が対象とする地域に関する知識を深めることによって、人文地理学的なものの見方・考え方を理解することを目標とする。	1			*	*
41201	自然地理学概説A	日本・世界の自然環境の分布・形成史・相互関係についての理解を深めると共に、自然環境と人間社会との関連性へ着目できるようになる。	1	*	*		
41202	自然地理学概説B	自然環境と人間社会の基層的な関係を理解すると共に、現代社会における自然環境に対する社会の責務を考えられるようになる。	1			*	*
41203	日本地誌A	多様な空間的スケールから、国内諸地域の人口動態や産業構造について理解する。	1	*	*		
41204	日本地誌B	様々な空間的スケールから、国内諸地域の多様な生産活動・消費活動を理解できるようになる。	1	*	*		
41205	世界地誌A	グローバリゼーションのもとでアジア地域が抱える諸問題について基礎的な知見を得る。	1			*	*
41206	世界地誌B	現行の開発政策や海外援助のあり方を批判的に見直して、現場の事実に基づいた途上国理解を得る。	1			*	*
41235	人文地理学特殊講義1	人口地理学の基本的な知識や概念を理解する。	2	*			
41236	人文地理学特殊講義2	人口地理学の基本的な知識や概念を理解する。	2		*		
41237	自然地理学特殊講義1	自然地理学が取り扱うさまざまな領域について、先端的な知識を導入しつつ考察を深める。	2			*	
41238	自然地理学特殊講義2	自然地理学が取り扱うさまざまな領域について、先端的な知識を導入しつつ考察を深める。	2				*

**副専攻名 地理学****副専攻のCP(カリキュラム編成方針)**

すべての学生を対象として、地理学という学問の基本的な知識、考え方、スキルを、ある程度体系的に学ぶことを目的とするカリキュラムである。とりわけ通常の講義や演習とともに、地域調査の基礎を学ぶための演習と実習を履修することで、地域調査の基礎的な知識と技術を身につける点に特徴がある。

**副専攻の学習成果**

- ・地理学の思考法について、体系性をもちながら、理解する。
- ・地域調査に関する基礎的な知識と技術を身につける。
- ・各領域の地理学の成果について知り、説明できるようになる。

**副専攻を構成する科目**

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4
41239	地誌学特殊講義1	現代社会における自然と社会の関係に関する人文地理学の基礎的な理論と概念を理解できるようになることを目標とする。	2	*			
41240	地誌学特殊講義2	現代社会における自然と社会の関係に関する人文地理学の応用的な理論と概念を理解できるようになることを目標とする。	2		*		
41243	人文地理学演習A1	人文地理学における学術論文の視点・分析視角、研究成果を習得・理解するとともに、人文地理学における地域調査手法を学ぶ。加えて、学生は担当章の発表を通じてプレゼンテーション能力の向上を目指す。	2	*			
41244	人文地理学演習A2	人文地理学における学術論文の視点・分析視角、研究成果を習得・理解するとともに、人文地理学における地域調査手法を学ぶ。加えて、学生は担当章の発表を通じてプレゼンテーション能力の向上を目指す。	2		*		
41245	人文地理学演習B1	人口分析の基礎的な手法を学ぶとともに、人口動態の変化を生みだした要因について理解する。	2	*			
41246	人文地理学演習B2	高度経済成長が日本の人口分布に及ぼした影響を理解するとともに、近年の少子高齢化に対する自治体・企業の対策について理解する。	2		*		
41249	地誌学演習1	現代における地理学的諸問題に対する理解を深めるとともに、英語でのプレゼンテーション及び討論を通じて国際的なコミュニケーション力を高める。	2			*	
41250	地誌学演習2	現代における地理学的諸問題に対する理解を深めるとともに、英語でのプレゼンテーション及び討論を通じて国際的なコミュニケーション力を高める。	2				*
41247	自然地理学演習1	自然地理学分野における学術論文の読解能力とプレゼンテーションのスキルを身につける。	2			*	
41248	自然地理学演習2	自然地理学分野における学術論文の読解能力とプレゼンテーションのスキルを身につける。	2				*